

事後評価調書

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路担当参事 古川 雅一 (街路担当主幹 金澤真文)	内線	4474 (4480)
-------------	-------------------	----------------------------	-------------------------------	-----------	----------------

事業種別	街路事業	事業名	都市計画道路 沖浜平津線 (小松原工区)			
事業区間	高砂市荒井町若宮町 ~ 高砂市荒井町小松原5丁目					
事業期間	計画	H20~H26年度(7年間)		事業費 (内用地補償費)	計画	約29億円(21億円)
	実績	H20~H29年度(10年間)			実績	30億円(23億円)
完了年月	平成29年12月			過去の評価	平成19年度 新規評価	

事業目的	事業内容
<p>本路線は、高砂市の東側に位置し、臨海部と国道2号バイパスを結ぶ都市計画道路であり、東播磨地域の南北交通を担う重要幹線道路である。</p> <p>①渋滞交差点の解消：兵庫県渋滞交差点解消プログラムに位置づけている国道250号(明姫幹線)古新西交差点の慢性的な渋滞を解消する。</p> <p>②良好な歩行空間の創出：広幅員の自転車歩行者道の整備により、歩行者・自転車の安全性を向上する。</p> <p>③広域ネットワークの形成：本路線を介して山陽自動車道から明姫幹線を経て東播磨臨海部への連携機能の強化を図る。</p>	<p>【全体延長】 710m</p> <p>【構造規格】 第4種第1級</p> <p>【計画幅員】 (4車線+両側歩道) 車道13.0m [全幅30.0m]</p> <p>【計画交通量】 自動車：19,400台/日</p> <p>【現況交通量】 自動車現況：18,224台/日(H27年センサス)</p> <p>【負担割合】 国0.55、県0.225、市0.225</p>

●事業概要図

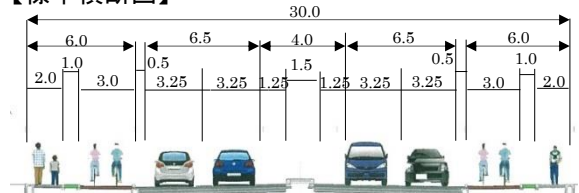
【詳細図】



【現場写真】



【標準横断面図】

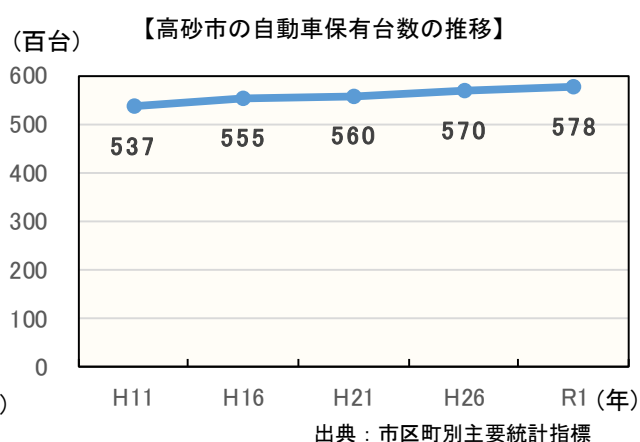
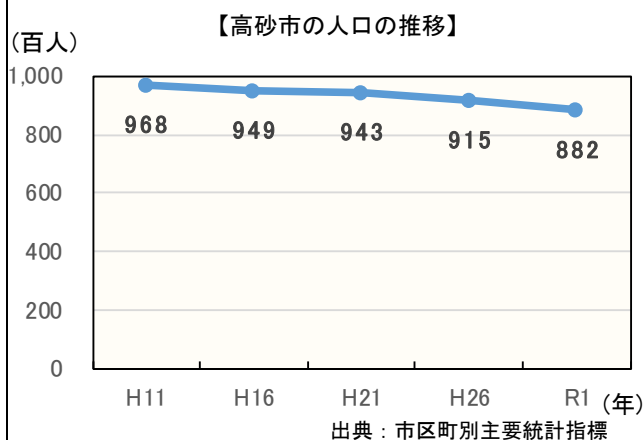


※本調書は、(都)沖浜平津線(高砂市域)の完成に伴い、当該路線全体を評価するものである。

●事業を取り巻く社会経済情勢等の変化

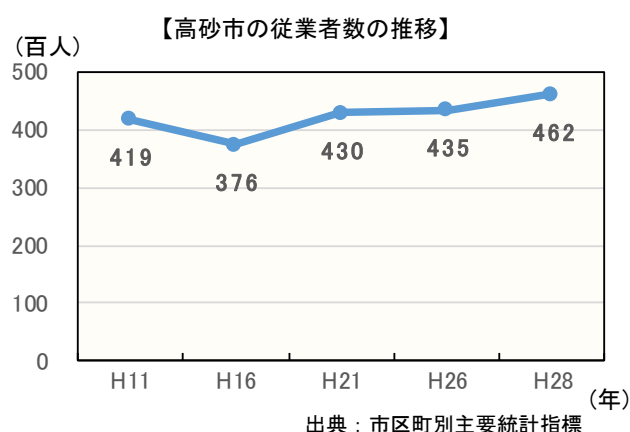
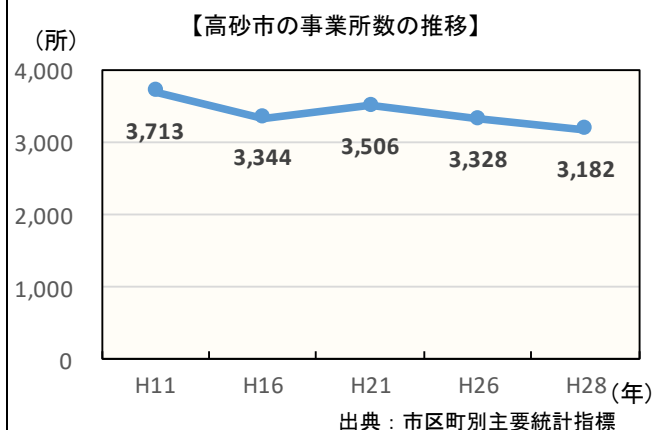
①人口、自動車保有台数の推移

・人口は減少傾向であるが、自動車保有台数は増加傾向である。



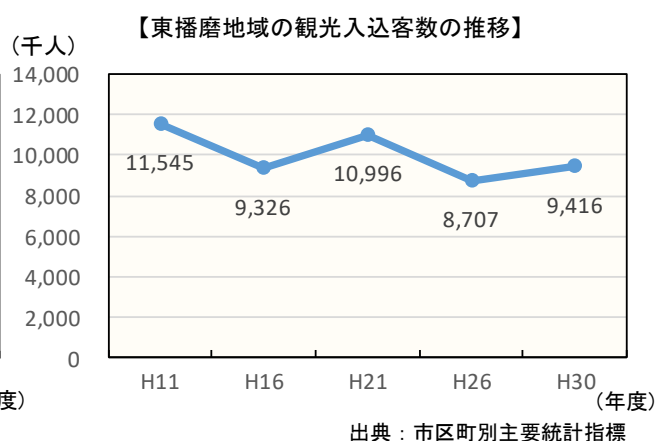
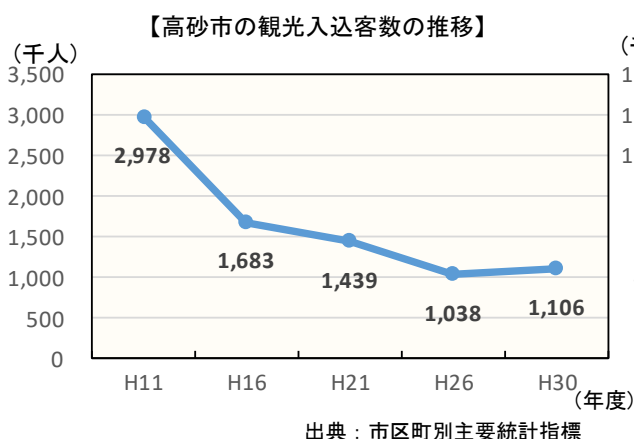
②事業所数、従業者数の推移

・事業所数は減少傾向であるが、従業者数は増加傾向である。



③観光入込客数の推移

・高砂市の観光入込客数は大幅な減少傾向である。



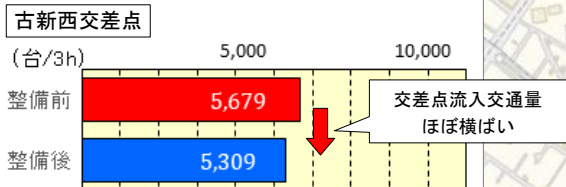
●事業の効果の発現状況

想定した整備効果等及び整備後の状況

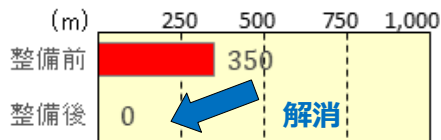
1. 渋滞交差点の解消

・古新西交差点において、交通容量不足や交差点形状の課題により、慢性的な渋滞が発生していたが、4車線化や右折滞留長の確保等の交差点形状の最適化により、交通量が横ばいの中、渋滞は概ね解消。

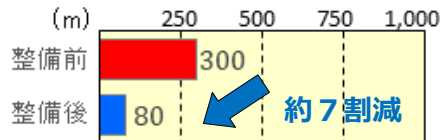
【渋滞長の変化】



①至高砂港



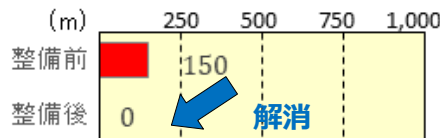
②至姫路



③至(国)2号



④至神戸

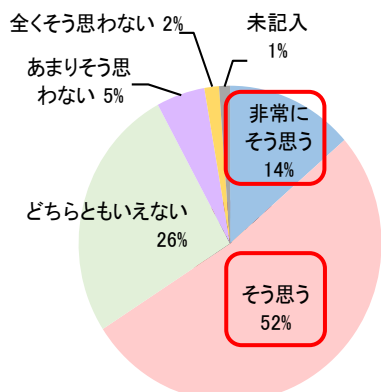


【調査日時】

(日付)
整備前：H21.3.11
整備後：H30.6.13
(時間)
朝3時間
(7:00~10:00)

【沿線住民・道路利用者アンケート調査結果 (R2.8~9 実施)】

設問内容：沖浜平津線の道路整備により古新西交差点、小松原交差点の渋滞が解消したと思いますか。



【沿線住民 325 世帯・道路利用者 447 人】



・夕方の臨海部からの帰宅ラッシュ時、古新西交差点の東行き((国)250号)の渋滞が緩和されました。
(道路利用者。60代男性)



・車線数が増えたことにより、スムーズに走行でき、大変便利な地域になりました。
(沿線住民。40代男性)

【ヒアリング調査結果】



・「渋滞回避のための迂回」や「渋滞を見込んだ移動(時間設定)」がなくなりました。(製造業者2社・配送業者1社)



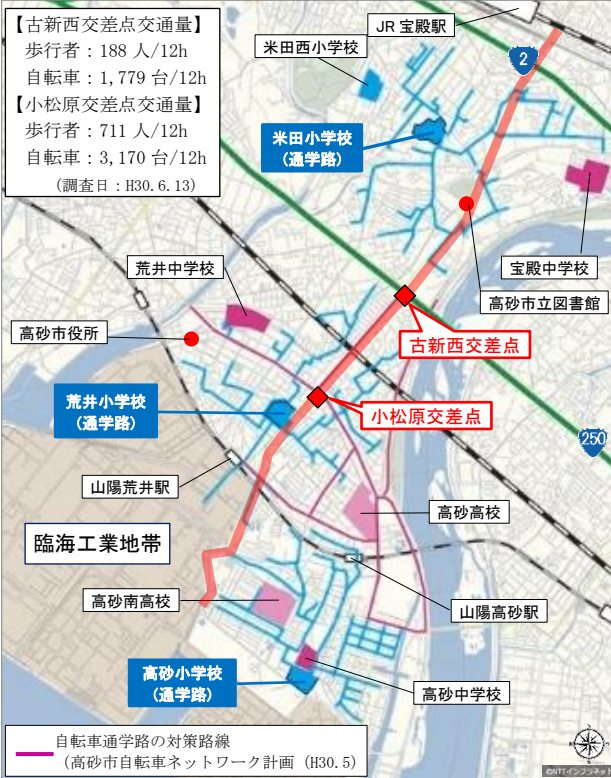
・道路整備により移動時間が短縮し、時間どおりに到着できるようになりました。(バス・タクシー事業者4社)

【小中学校、交通事業者、企業等14社にヒアリング】

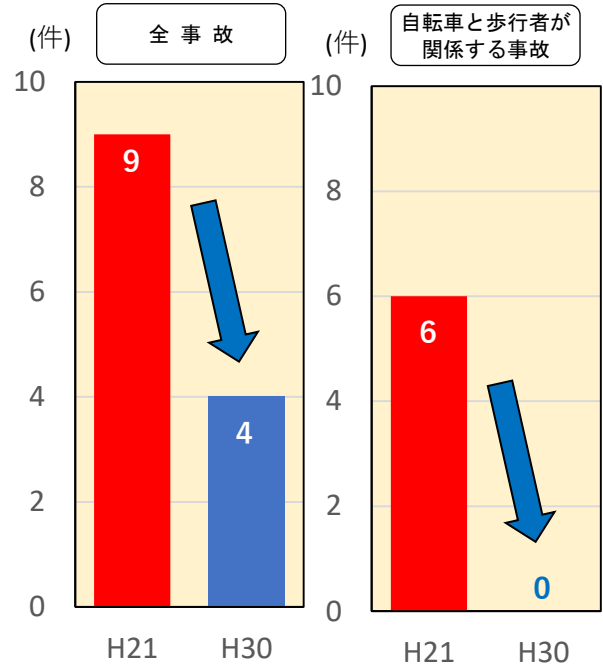
想定した整備効果等及び整備後の状況

2. 安全性の向上

- ・当路線沿線には小中学校、高校が多く歩行者が多い。また、通勤・通学、買い物、レジャー等の移動手段として広く自転車を利用されているにも関わらず、歩道・自動車道が未整備であった。
- ・歩道、自転車道を整備し、自転車・歩行者の通行を分離することで安全で快適な通行を確保した。



【沖浜平津線(小松原工区)の事故件数】



出典：交通事故総合分析センター (イタルダ)



【整備前】



【整備後】



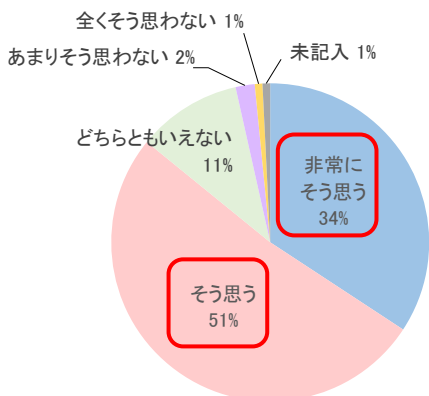
【整備前】



【整備後】

【沿線住民・道路利用者アンケート調査結果 (R2.8~9 実施)】

設問内容：沖浜平津線の道路整備により歩行者・自転車の安全性が向上したと思いますか。



【沿線住民 325 世帯・道路利用者 447 人】



・以前は歩道が狭く危険であったが、整備後は安心して歩けるようになりました。(道路利用者。70代男性)



・子供が自転車で通っていても安心できるようになりました。ウォーキングで通る人も増えたと思います。(沿線住民。30代女性)



・沿線事業所に通勤する者、自転車通学の学生にとってはすごく便利になったと思います。(道路利用者。50代男性)

【ヒアリング調査結果】



・車道は広く、歩道がしっかり区別されているので、安全性が向上し、ストレスなく走行できるようになりました。(バス事業者)



・整備後は、歩行者、自転車が良く見えるので存在があまり気にならなくなり、運転しやすくなりました。(バス事業者・配送業者)

【小中学校、交通事業者、企業等 14 社にヒアリング】

想定した整備効果等及び整備後の状況

3. 広域ネットワークの形成(緊急輸送道路の機能強化)

- ・高規格幹線道路(中国道・山陽道)や国道2号バイパスといった東西の重要な幹線道路を南北に結ぶ緊急輸送道路として安全性、定時性が向上。

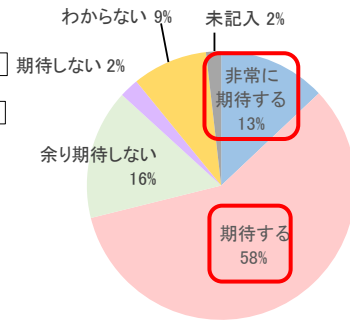
【緊急輸送道路ネットワーク】



【沿線住民・道路利用者アンケート調査結果【(R2.8~9実施)】

設問内容

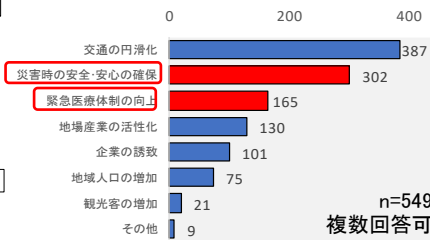
沖浜平津線の整備による地域の発展に期待していますか。



【沿線住民 325 世帯・道路利用者 447 人】

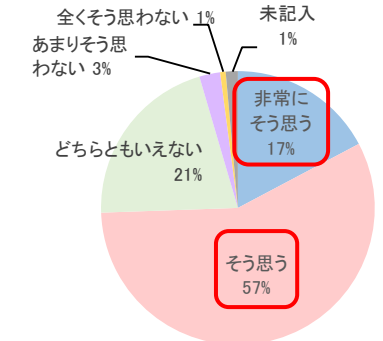
設問内容

どのような影響を期待しますか。



設問内容

災害時に救助活動や救援物資の輸送に役立つようになったと思いますか。



【沿線住民 325 世帯・道路利用者 447 人】

【ヒアリング調査結果】

- ・道路幅員、通行帯が広がったことにより、安全性、円滑化等については、改善されたいと思います。
(高砂警察署員)
- 【企業等 14 社にヒアリング】

- ・当路線の整備により、臨海部の物流拠点である高砂港から国道2号バイパスや国道250号といった東西の幹線道路を結ぶ多車線ネットワークが形成され、物流等が効率化。

【車線線図】

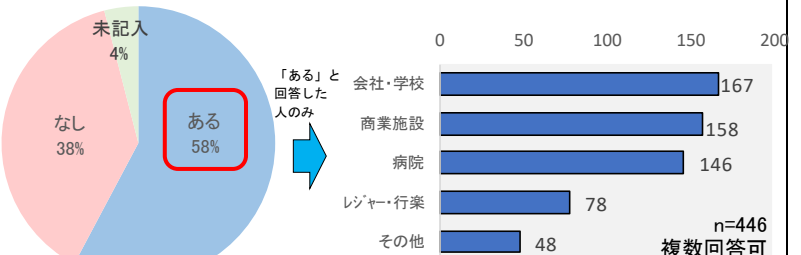


企業名	製造品	シェア
(株)カカ	プラスチック樹脂改質	世界 No. 1
(株)神戸製鋼所	アルミイカ剤	世界 No. 1 (60%)
三菱パワー(株)	ガスタービン	世界 No. 1
AGC(株)	自動車専用ガラス	世界 No. 1

【沿線住民・道路利用者アンケート調査結果【(R2.8~9実施)】

設問内容

沖浜平津線の道路整備により整備前に比べて行きやすくなったと感じられる場所がありますか



【沿線住民 325 世帯・道路利用者 447 人】

【ヒアリング調査結果】

- ・高砂港から姫路B.P、山陽道といった自動車専用道路までのアクセスの利便性が高まりました。(製造業者 2 社)
- ・渋滞の緩和により移動時間が短縮し、配送・営業ルートを変更しました。(配送事業者 1 社)
- 【企業等 14 社にヒアリング】

●特徴的な取組み

○積極的な情報発信

事業の進捗状況や道路事業の効果を様々なパンフレット等を配布し、積極的な事業PRを実施した。その効果もあり、道路事業への関心や参画意識が高く、整備効果検証のために実施したアンケートの回収率は非常に高い結果となった。

【アンケート用紙】

アンケート調査と合わせて事業目的・効果もPR
(沿線住民等に約1,200部配布)

調査のお願い U・H 兵庫県

事業効果もPR

このアンケートは、今後の道路整備の参考とするため、**沖浜平津線の経路調整について地域の皆さまにご意見を伺う**ものです。
なお、回答は匿名形式のため、全て統計的に処理され、個人が特定できる内容についての情報収集はいたしません。

沖浜平津線の事業目的

- 高砂市内の約4.5kmの区間は現在、歩道が在りません。
- 交通量の増加と大型トラックの増加により、歩道が狭小化しています。

都市計画道路「沖浜平津線」の整備

東播磨自動車道から国道2号バイパスに並ぶ、東播磨地域の主要幹線道路として、昭和39年に都市計画決定を行い、昭和48年から事業を進め、平成19年の小松原工区(延長7.0km)の完成により、全線(延長4.5km)の整備が完了しました。

自転車・歩行者の「安全性向上」

車道と分離した自転車歩行者道の整備により、歩行者・自転車の安全性が向上しました。また、広幅員の車道により、二輪車の安全性も向上しました。

土地利用の活性化(地域の活力を向上)

建物土地の増加、大規模建物の建設、商業施設の出店等、新市街地の形成を促進し、地域の活力が向上しました。

【アンケート回収率】

対象者	配布数(人)	回収数(枚)	回収率
沿線住民	645	325	50.4%
道路利用者	517	447	86.5%
合計	1162	772	66.4%

【パンフレット】



道路事業と関連する地域のトピックを紹介

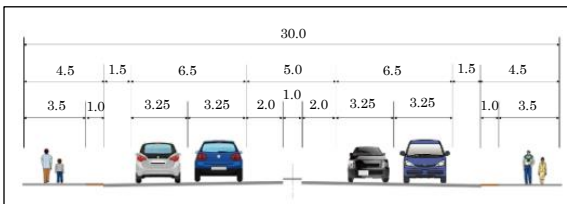
沖浜平津線の歴史(ケヤキ)

(都)沖浜平津線の道路脇にある造り酒屋の庭に樹齢100年を超える巨大ケヤキが2本ありました。平成12年、道路の拡幅工事によって、ケヤキが支障となるため、伐採を前に「ケヤキのためのコンサート」が開催されました。このコンサートをきっかけに、ケヤキは高砂市の保存樹に指定され、交通島に移植して保存されています。今もなお、育った土地に力強く根を張って、地域の人々を見守っています。

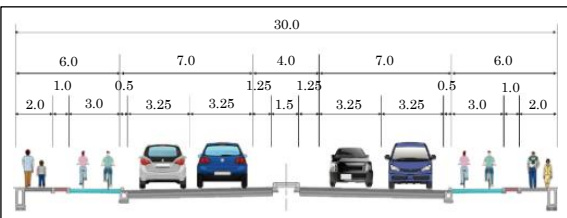
○歩行者と自転車との分離

平成24年に国土交通省及び警察庁から発出された「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を受けて、事業実施中に計画を見直すことにより、兵庫県で先進的な取組みとして歩道と分離した安全で快適な自転車道を整備。また、関連区間においても、自転車通学路の対象路線であることや高砂市の「自転車ネットワーク計画」に位置づけられていることから、自転車歩行者道の歩道と自転車道を分離。

【計画変更前】



【計画変更後】



自転車道整備状況



【沖浜平津線の整備と自転車施策の経緯】

- H23.11～: 国土交通省と警察庁が「安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた検討委員会」を開催。
- H24.4 : 検討委員会が提言書を取りまとめ。
- H24.11 : 国土交通省及び警察庁が「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を発出。
- H25～: 沖浜平津線(小松原工区)自転車道計画見直し
- H26.3 : 兵庫県が「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の補足事項を取りまとめ。
- H29.12 : 沖浜平津線(小松原工区)完成供用

○地域とのコミュニケーション

平成 29 年 12 月 16 日に沖浜平津線の全線整備完了を祝い、完成式典を開催した。式典には、多くの地域住民や工事関係者が参加し、中学生による吹奏楽の演奏や園児によるバルーンリリースが行われ、地域住民と盛大に完成を祝った。

【園児とのバルーンリリース】



【中学生の演奏】

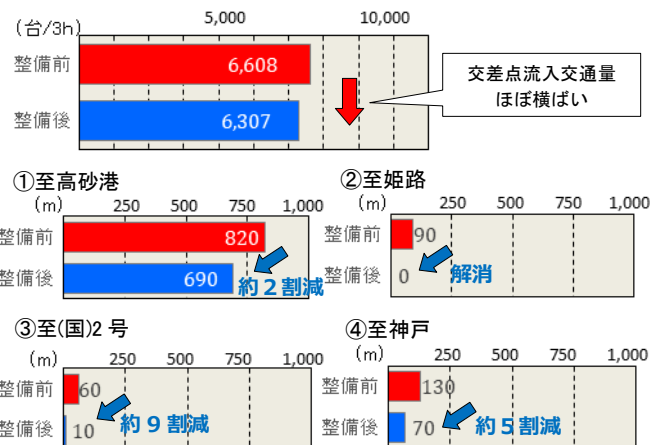


●改善措置の必要性及び事業実施時の反省点、失敗点

○更なる交通円滑化（荒井工区 S63 供用）

整備後においても、更なる渋滞解消を求める意見が寄せられており、沖浜平津線全線整備完了後の平成 30 年に実施した交通量調査においても、小松原交差点で信号待ち回数が 5 回となるなど、朝夕の通勤時間帯で一部渋滞が確認された。今後、渋滞の原因を精査し、可能な対応を検討していきたい。

【渋滞長の変化】



【調査日時】

(日付) 整備前：H20.11.26 整備後：H30.6.13
(時間) 朝 3 時間(7：00～10：00)

【調査で寄せられた要望】



・渋滞は緩和されましたが、朝夕の通勤時間はまだ渋滞しているので、周辺道路の総合的な道路整備を期待しています。(製造業者)

●同種事業の計画・調査・事業実施のあり方、事業評価手法の改善等

○工事の短縮化

アンケート及びヒアリング調査では、改善してほしい事項として「工事の短縮化」を望む意見が多く寄せられた。今後とも、広く情報を発信し、住民の理解を得ながら適切な工事期間を設定し、事業進捗に努めていくことが望ましい。

【主な意見】



- ・どここの道路事業もそうですが、もう少し工期が短縮してほしいです。
- ・複数の業者を入れるなど工事期間を短縮する対策をお願いいたします。（バス事業者）



- ・良い面が非常に多い道路整備でしたが、整備完了までの工期が非常に長かったと思います。
- ・工事期間中は渋滞などで大変不便でした。（道路利用者。50代男性）

●事業概要等の変遷

- 昭和 39 年 3 月 23 日 都市計画決定 (L=4,500m)
- 昭和 48 年 9 月 25 日 平津工区事業認可
- 昭和 62 年 12 月 18 日 米田工区事業認可
- ①昭和 63 年 荒井地区完成供用 (L=359m)
- ②平成元年 荒井工区完成供用 (L=250m)
- 平成元年 3 月 平津工区完成供用 (L=1,015m)
- ※うち高砂市域 (L=140m)
- ③平成 12 年 3 月 米田工区完成供用 (L=720m)
- 平成 12 年 7 月 24 日 古新工区事業認可
- ④平成 16 年 3 月 南工区完成供用 (L=886m)
- 平成 20 年 11 月 13 日 小松原工区事業認可
- ⑤平成 21 年 3 月 古新工区完成供用 (L=735m)
- 平成 25 年 8 月 23 日 都市計画決定 (変更) (L=4,580m)
- ⑥平成 28 年 3 月 南端部完成供用 (L=780m)
- ⑦平成 29 年 12 月 小松原工区完成供用 (L=710m)

